

1. 大学図書館の概要

区 分			国立大学	公立大学	私立大学	計
図書館数		図書館・室数(集計大学数)	355(98)	66(41)	791(384)	1,212(523)
蔵書数	図書	総数(冊)	74,694,848	9,732,006	102,502,426	186,929,340
		(構成比%)	(40.0)	(5.2)	(54.8)	(100)
	雑誌	1大学当たり	762,192	237,367	266,933	357,417
		総数(種類)	1,126,199	134,375	1,342,654	2,603,228
		(構成比%)	(43.3)	(5.2)	(51.5)	(100)
		1大学当たり	11,492	3,277	3,496	4,977
年間図書受入冊数		総数(冊)	1,991,083	337,517	4,647,609	6,976,209
		1大学当たり	20,317	8,232	12,103	13,339
年間雑誌受入冊数		総数(種類)	579,124	77,866	749,530	1,406,520
		1大学当たり	5,909	1,899	1,952	2,689
奉仕対象者数	学生	総数(人)	556,150	71,032	1,845,873	2,473,055
		1大学当たり	5,675	1,732	4,807	4,729
	教員	総数(人)	57,000	7,132	76,681	140,813
		1大学当たり	582	174	200	269
奉仕対象者(教員及び学生)		蔵書数(冊)	121.8	124.5	53.3	71.5
		年間図書受入冊数(冊)	3.2	4.3	2.4	2.7
		図書館資料費	35.0	31.5	21.1	24.7
図書館職員数		総数(人)	3,984	517	7,624	12,125
		専任(人)	2,519	421	5,259	8,199
		臨時(人)	1,465	96	2,365	3,926
		1大学当たり	41	13	20	23
図書館職員1人当たり奉仕対象者(人)			153.9	151.2	252.2	215.6
図書館資料費		総額(千円)	21,485,286	2,460,380	40,513,405	64,459,071
		1大学当たり	219,238	60,009	105,504	123,249

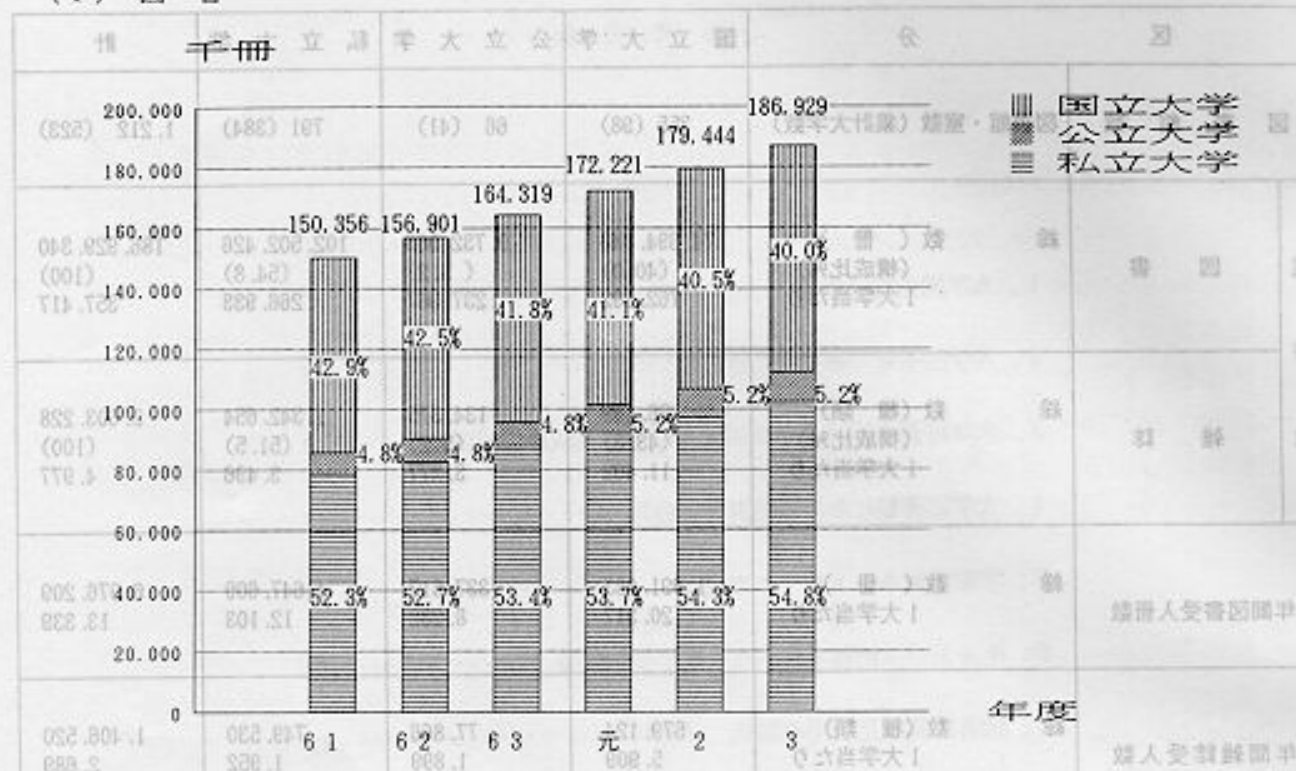
出典:「平成4年度大学図書館実態調査結果報告」(文部省学術国際局)

2. 大学図書館の蔵書数の推移

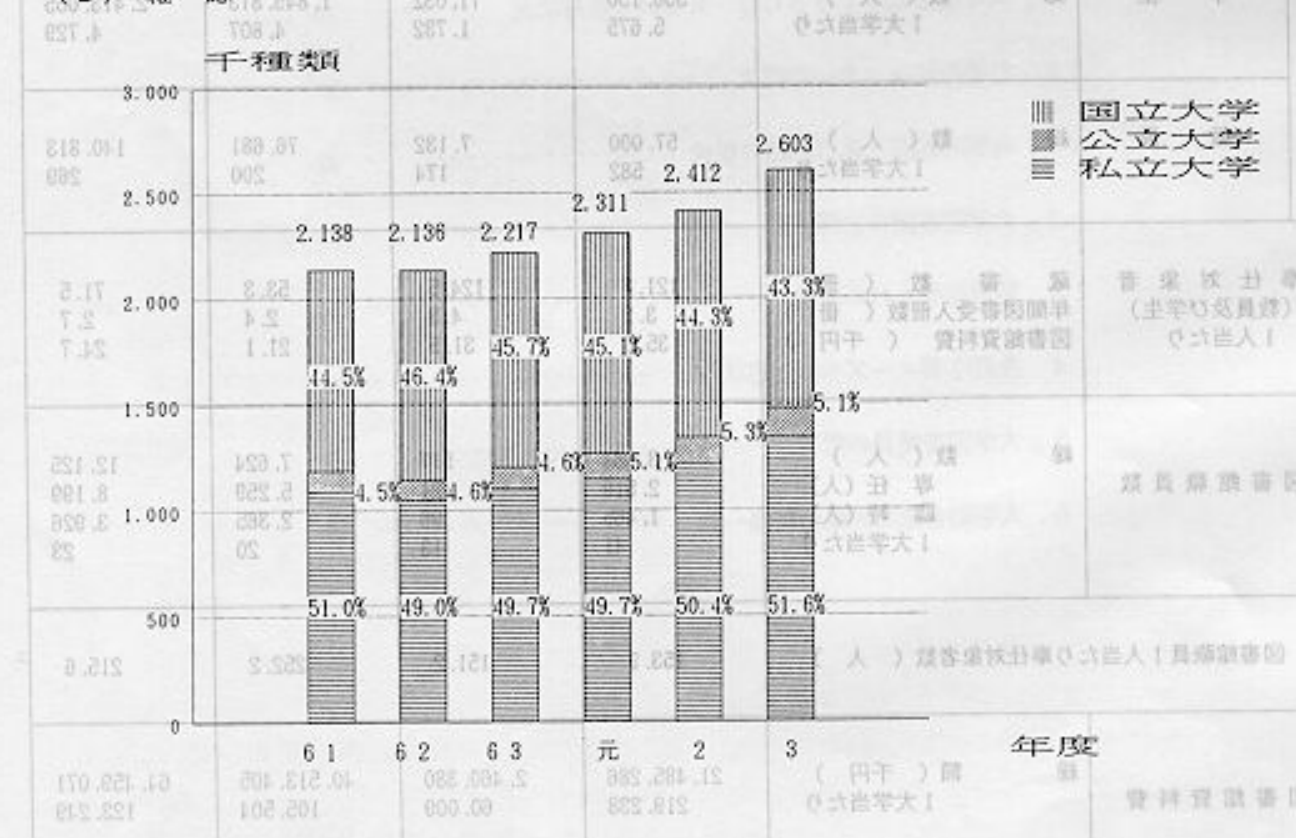
2. 大学図書館の蔵書数の推移

要旨の蔵書図大

(1) 図 書



(2) 雑 誌



3. 大学経費全体に占める図書館経費の構成比の推移

(1) 図書館資料費

区分	国立大学	公立大学	私立大学	平均
56	% 1. 8	% 2. 0	% 1. 9	% 1. 9
61	1. 5	1. 3	1. 8	% 1. 7
平成3	1. 3	1. 4	1. 8	% 1. 6

(2) 図書館運営費

区分	国立大学	公立大学	私立大学	平均
56	% 1. 6	% 2. 4	% 2. 4	% 2. 0
61	1. 5	2. 0	2. 3	% 1. 9
平成3	1. 4	2. 1	2. 5	% 2. 1

4. 大学図書館における電算化の推移

(1) 国公立別電算化の推移

区分	国立大学		公立大学		私立大学		計	
	大学数	導入大学数	大学数	導入大学数	大学数	導入大学数	大学数	導入大学数
元	95	90 (94.7%)	37	13 (35.1%)	364	167 (45.9%)	496	270 (54.4%)
2	96	93 (96.9%)	39	16 (41.0%)	370	180 (48.4%)	507	289 (57.0%)
3	97	96 (99.0%)	39	18 (46.2%)	378	202 (53.4%)	514	316 (61.5%)

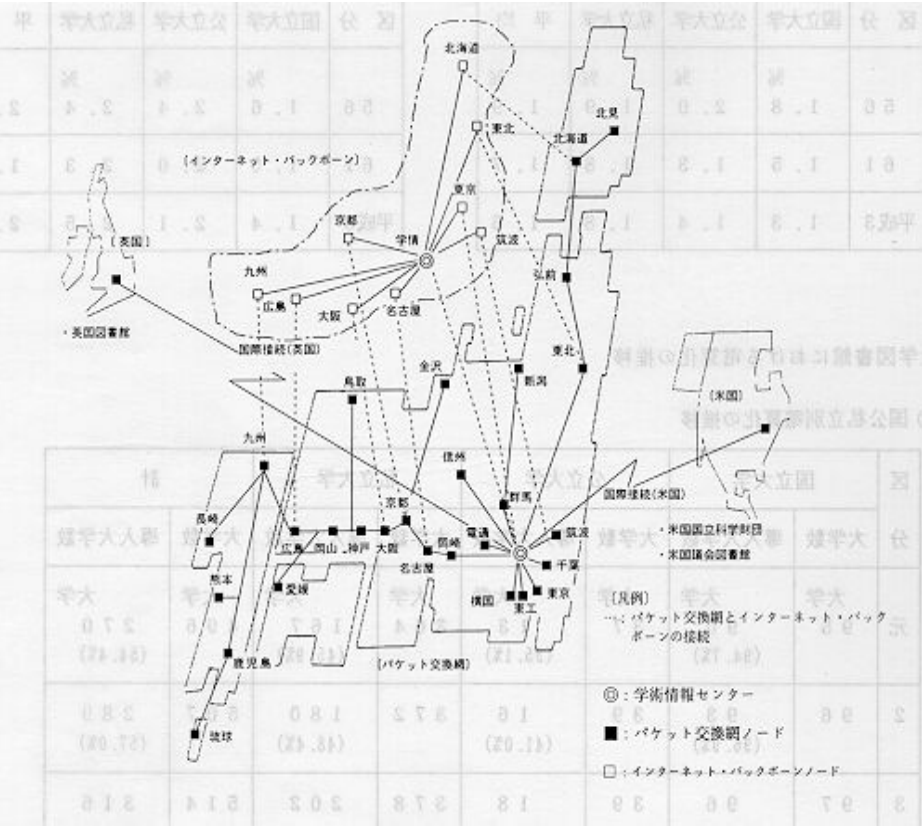
(注) 情報処理センター等の電算機を使用して 図書館業務を電算化している大学を含む。

(2) 国立大学図書館における専用電子計算機導入状況

区分	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	計
専用電子計算機 導入大学数	1	2	3	4	4	4	9	11	11	10	9	9	9	7	93
高速ファックス 導入大学数	—	—	—	—	—	—	—	15	15	29	9	9	9	7	93

5. 学術情報ネットワークの概要

(1) 学術情報ネットワークの概念図



(2) 学術情報ネットワークの利用機関数

(平成5年12月末現在)

区分	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等 専門学校	大学共同 利用機関	その他	計
利用機関数	97	37	327	174	43	14	145	837

6. キャンパス情報ネットワークの整備状況(国立大学)

区分	昭和 63 年度	平成元年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
大学数	1	2	4	5	64

(注)各年度末における整備済大学数の累計。ただし、平成5年度は補正予算(1次、2次)分を含む。

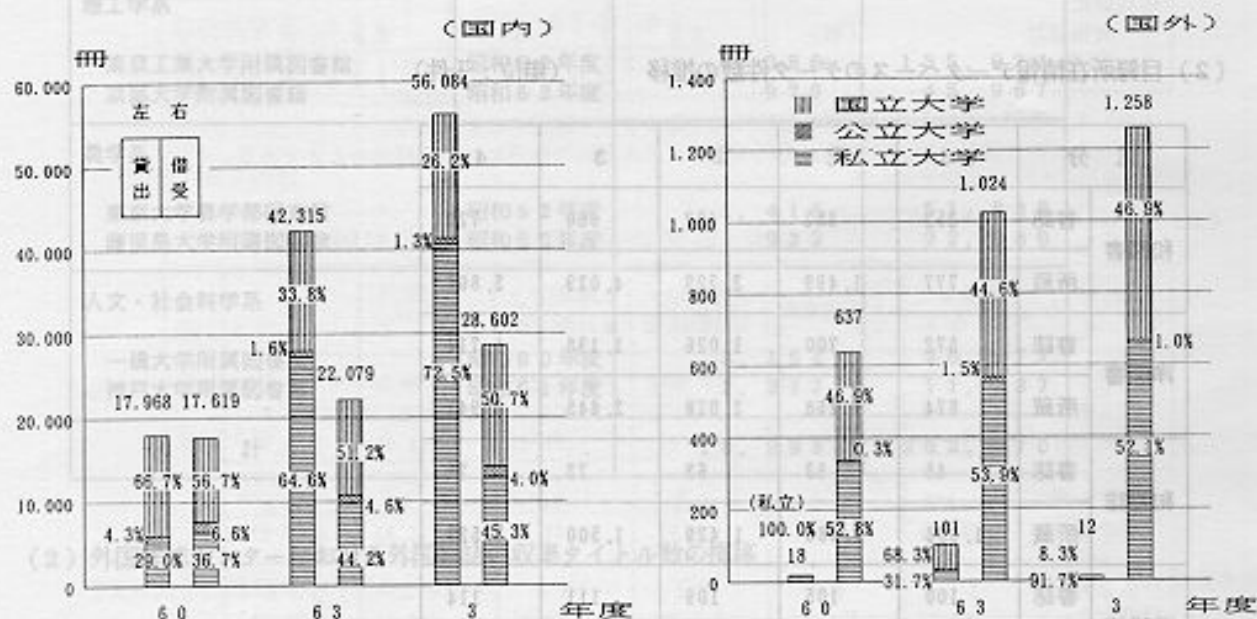
7. 図書館相互利用の現状

(1) ILLシステムへの参加機関数

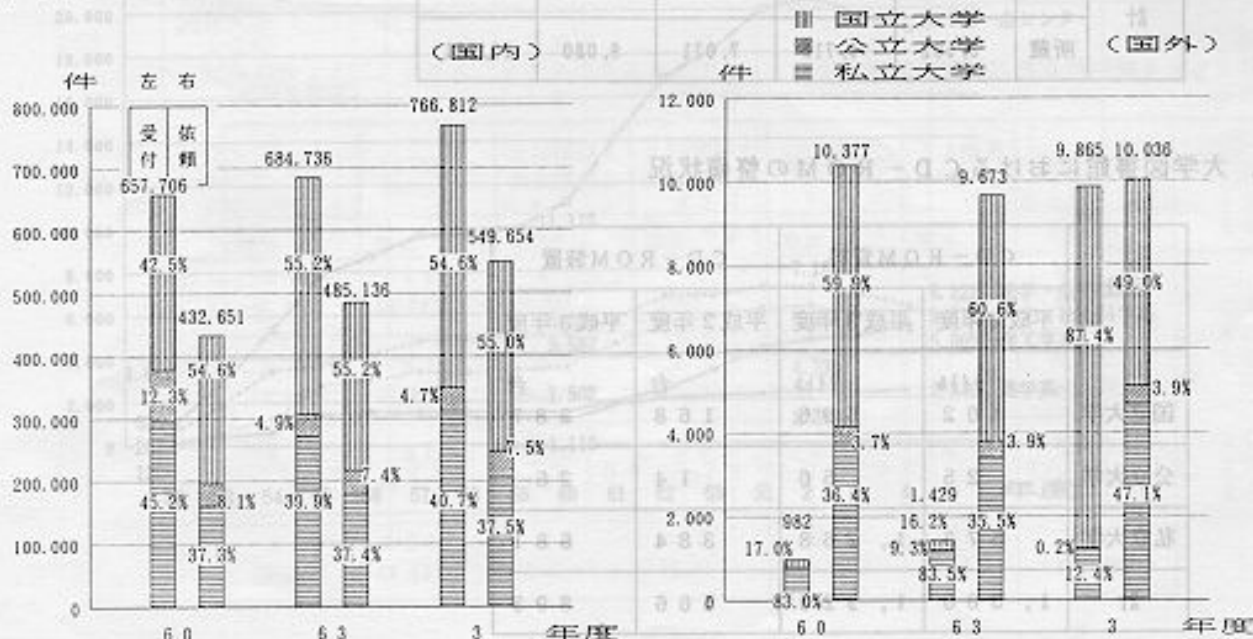
(平成5年4月1日現在)

区分	国立大学	公立大学	私立大学	大学共同 利用機関等	計
参加機関数	96	14	102	21	233

(2) 図書・雑誌の相互貸借



(3) 文献複写件数



8. 目録所在情報データベースの形成

(1) 共同分担目録システムへの参加機関数の推移

区分	63	元	2	3	4
国立大学	70	82	93	95	96
公立大学	0	3	4	9	16
私立大学	17	36	49	77	111
大学共同利用機関等	4	5	7	10	29
計	91	126	153	191	252

(2) 目録所在情報データベースのデータ件数の推移（単位：千件）

区分		63	元	2	3	4
和図書	書誌	252	352	492	600	720
	所蔵	777	1,499	2,729	4,029	5,866
洋図書	書誌	572	700	1,026	1,198	1,714
	所蔵	874	1,268	2,028	2,645	3,941
和雑誌	書誌	45	53	63	73	73
	所蔵	1,008	1,086	1,429	1,500	1,523
洋雑誌	書誌	100	105	109	111	114
	所蔵	843	865	885	906	951
計	書誌	969	1,210	1,690	1,982	2,621
	所蔵	3,502	4,718	7,071	9,080	12,281

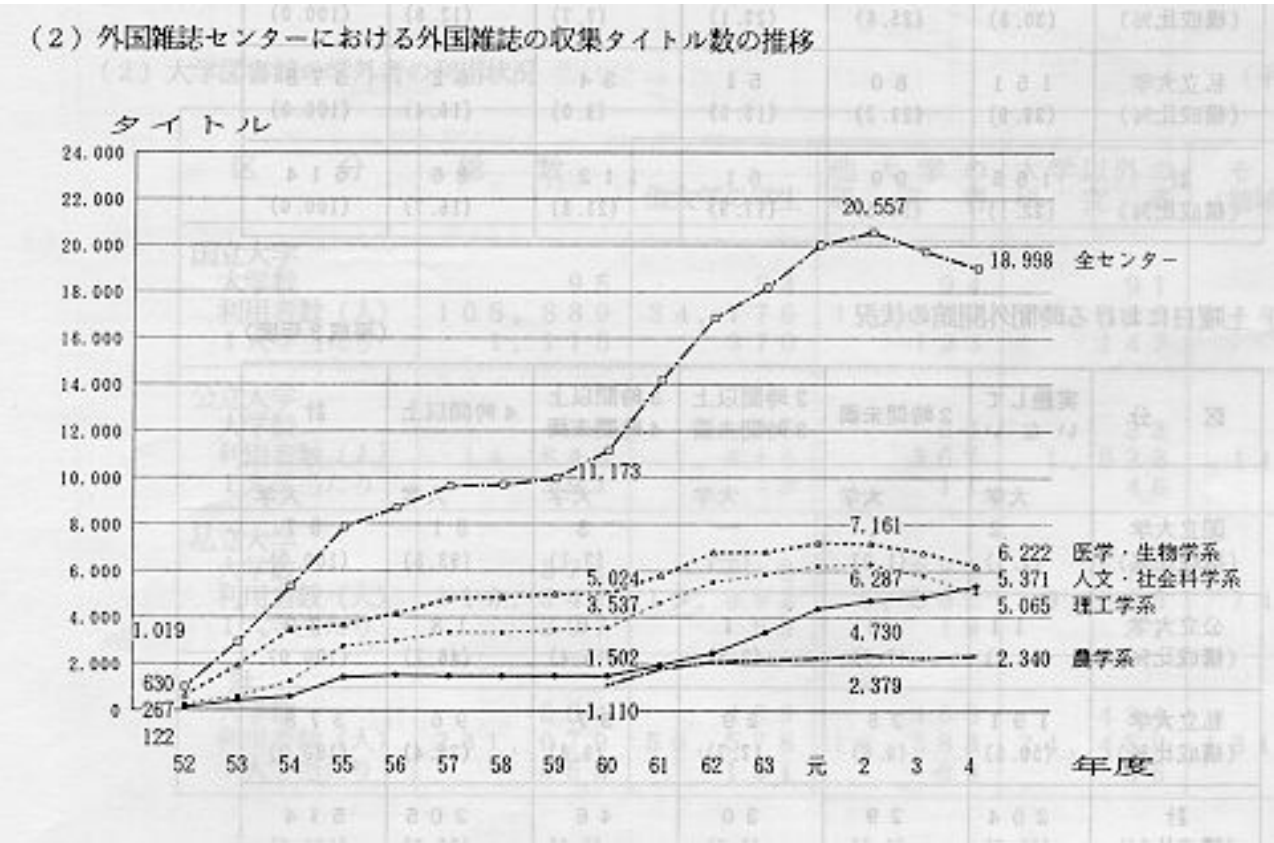
9. 大学図書館におけるCD-ROMの整備状況

区分	CD-ROM資料		CD-ROM装置	
	平成2年度	平成3年度	平成2年度	平成3年度
国立大学	タイトル 402	タイトル 596	台 168	台 287
公立大学	25	56	14	25
私立大学	573	1, 268	384	581
計	1, 000	1, 920	566	893

10. 外国雑誌センターの現状

(1) 外国雑誌センターの概要

区分	指定年度	外国雑誌の タイトル数 (平成4年度末)	文献複写 利用状況 (平成4年度間)
医学・生物学系 大阪大学附属図書館生命科学分館 東北大学附属図書館医学分館 九州大学附属図書館医学分館	昭和52年度 昭和53年度 昭和52年度	タイトル 4, 233 1, 034 955	件 548, 275 34, 908 81, 164
理工学系 東京工業大学附属図書館 京都大学附属図書館	昭和52年度 昭和62年度	4, 086 135, 924	979 45, 967
農学系 東京大学農学部図書館 鹿児島大学附属図書館	昭和52年度 昭和52年度	1, 418 51, 888	922 22, 980
人文・社会科学系 一橋大学附属図書館 神戸大学附属図書館	昭和60年度 昭和61年度	3, 154 20, 577	2, 217 11, 287
計		18, 998	952, 970



11. 時間外開館・休日開館の現状

(1) 開館状況(平成3年度)

区分	国立大学	公立大学	私立大学
年間開館総日数(1館平均)(日)	268	232	250
時間外開館			
実施館数(館)	182	33	350
実施率(%)	56.9	50.8	50.6
1日当たりの実施時間(1館平均)(時間)	2.6	1.6	1.7
休日開館			
実施館数(館)	15	1	88
実施率(%)	4.7	1.5	12.4

(注1)時間外開館とは、通常の勤務時間を超えて行う開館のことである。

(注2)休日開館とは、日曜日、国民の祝日、年末年始の休日における開館のことである。

(2) 平日における時間外開館の状況(平成3年度)

区分	実施して いない	2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	計
国立大学 (構成比%)	大学 2 (2.1)	大学 — (—)	大学 1 (1.0)	大学 75 (77.3)	大学 19 (19.6)	大学 97 (100.0)
公立大学 (構成比%)	12 (30.8)	10 (25.6)	9 (23.1)	3 (7.7)	5 (12.8)	39 (100.0)
私立大学 (構成比%)	115 (39.9)	80 (21.2)	51 (13.5)	34 (9.0)	62 (16.4)	378 (100.0)
計 (構成比%)	165 (32.1)	90 (17.5)	61 (11.9)	112 (21.8)	86 (16.7)	514 (100.0)

(3)土曜日における時間外開館の状況

区分	実施して いない	2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	計
国立大学 (構成比%)	大学 2 (2.1)	大学 1 (1.0)	大学 — (—)	大学 3 (3.1)	大学 91 (93.8)	大学 97 (100.0)
公立大学 (構成比%)	11 (28.2)	3 (7.7)	1 (2.5)	6 (15.4)	18 (46.2)	39 (100.0)
私立大学 (構成比%)	191 (50.5)	25 (6.6)	29 (7.7)	37 (9.8)	96 (25.4)	378 (100.0)
計 (構成比%)	204 (39.7)	29 (5.6)	30 (5.8)	46 (9.0)	205 (39.9)	514 (100.0)

12. 大学図書館の公開状況

(1) 大学図書館の学外者への公開状況

1) 公開率(平成3年度版)

区分	総数	学外者の利用を 認めている大学	公開率
国立大学	大学 97	大学 95	% 97. 9
公立大学	39	38	97. 4
私立大学	378	371	98. 1
計	514	504	98. 1

2) サービス内容(平成3年度)

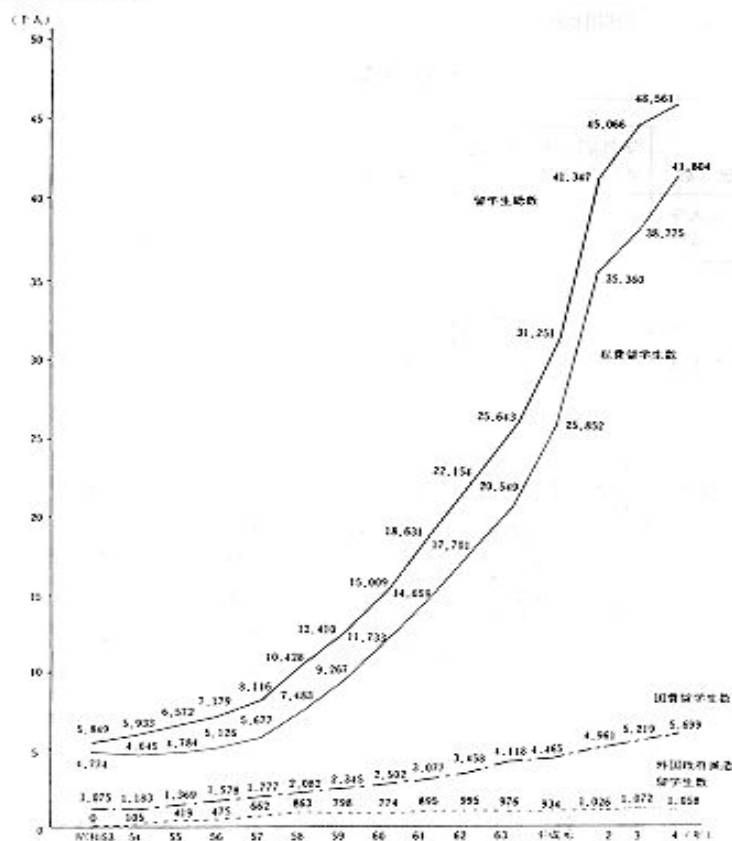
区分	情報検索	館内閲覧	館外貸出	複写サービス	その他
国立大学	大学 32	大学 95	大学 29	大学 90	大学 25
公立大学	8	37	13	35	6
私立大学	147	370	141	354	46
合計	187	502	183	479	77

(2) 大学図書館の学外者の利用状況(平成3年度)

区分	総数	他大学の 学生	他大学の 研究者	大学以外の 研究者	その他 (地域住民等)
国立大学					
大学数	95	94	94	91	91
利用者数(人)	105, 889	34, 776	11, 560	13, 396	46, 157
1大学当たり	1, 115	370	123	147	507
公立大学					
大学数	38	37	34	33	32
利用者数(人)	14, 843	1, 810	367	1, 528	11, 138
1大学当たり	391	49	11	46	348
私立大学					
大学数	371	338	335	310	283
利用者数(人)	110, 347	19, 992	6, 356	9, 535	74, 464
1大学当たり	297	59	19	31	263
計					
大学数	504	469	463	434	406
利用者数(人)	231, 079	56, 578	18, 283	24, 459	131, 759
1大学当たり	458	121	39	56	325

13. 留学生受入れの現状

(1) 留学生数の推移



(注) 外国政府派遣留学生は、中国、マレーシア、インドネシア、ブラジル、タイ及びシンガポールの各国政府派遣留学生である。

(2) 出身国(地域)別留学生数(平成4年5月1日現在)(単位:人)

国(地域)名	留学生数	
中国	20,437	(1,299)
韓国	11,596	(672)
台湾	6,138	(—)
マレーシア	1,934	(252)
アメリカ合衆国	1,245	(145)
インドネシア	1,154	(367)
タイ	894	(450)
フィリピン	503	(293)
香港	496	(55)
バングラデシュ	497	(294)
その他	3,685	(1,872)
計	48,561	5,699

(注)()内は国費留学生数で内数。

14. 生涯学習ニーズへの対応状況

(1) 社会人特別選抜の実施状況(単位:校、人)(平成4年度)

区分	全大学数	実施大学	入学者数
国立大学	98	23	370
公立大学	41	12	190
私立大学	385	121	3,361
計	524	156	3,921

(2) 聴講生等の状況(単位:校、人)

区分	平成4年度の 聴講生等の数	昭和 61 年度の 聴講生等の数
国立大学	26,521	23,240
公立大学	4,111	3,564
私立大学	20,933	15,901
計	51,565	42,705

(3) 夜間の学部等を有する大学の状況(単位:校、人)(平成4年度)

区分	全大学数	夜間の学部等 を有する大学	入学定員	入学者数	在学者数
国立大学	98	21	2,626	2,628	12,584
公立大学	41	6	849	820	3,907
私立大学	358	47	21,880	25,924	106,162
計	524	74	25,355	29,372	122,653

(4) 大学公開講座の開設状況(平成3年度)

区分	全大 学数	開設 大学数	開設 講座数	開設時間数		受講者数				
						計		男	女	不明
	校	校	講座	時間	(1講 座当)	人	(1講 座当)	人	人	人
国立大学	97	95	805	16,293	20.2	46,348	57.6	23,905	21,222	1,221
公立大学	39	34	250	4,305	17.2	41,608	166.4	17,384	12,256	11,968
私立大学	378	268	2,523	33,010	13.1	389,063	154.2	71,430	100,703	216,930
計	514	397	3,578	53,608	15.0	477,019	133.3	112,719	134,181	230,119

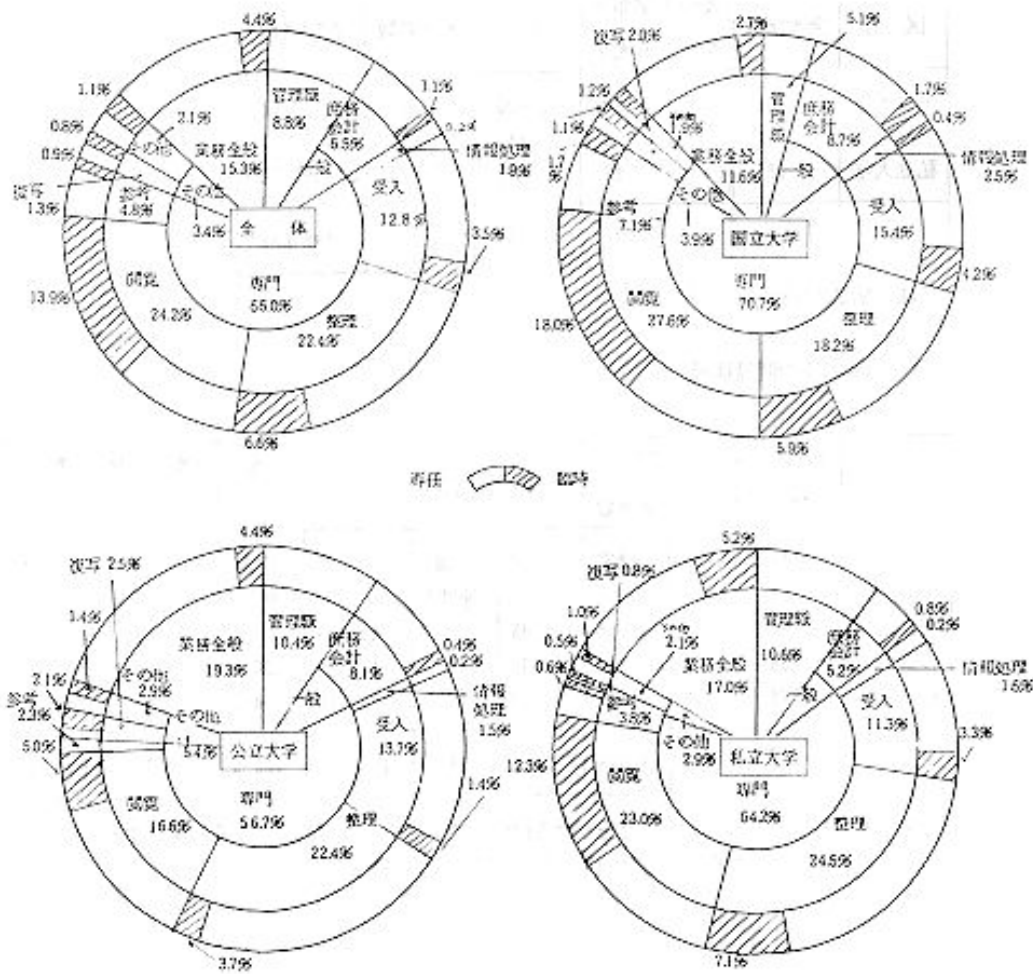
15. 大学図書館員の現状

(1) 大学図書館・室の職員数(平成4年5月1日現在)(単位:人)

区分	国立大学	公立大学	私立大学	計
専任職員 (1大学当たり)	2,519 (26)	421 (10)	5,259 (14)	8,199 (16)
臨時職員 (1大学当たり)	1,465 (15)	96 (2)	2,365 (6)	3,926 (7)
計 (1大学当たり)	3,984 (41)	517 (12)	7,624 (20)	12,125 (23)

(2) 職務内容別構成

職務内容別の職員構成をみると、全体で専門的業務に従事する職員の割合は、66.0%を占めている。その内訳は、情報処理業務1.9%、受入業務12.8%、整理業務22.4%、閲覧業務24.2%、参考業務4.8%である。



16. 大学図書館関係職員研修一覧

(1) 文部省と大学の共催で行っている研修

研修の名称等	目的	研修対象・期間等
大学図書館職員長期研修 (図書館情報大学)	係長を中心とする中堅職員に対し学術情報に関する最新の知識を教授し、職員の資質と能力の向上を図ることにより、大学図書館の情報提供サービス体制を充実させる。	大学図書館の職員として、専門的業務に10年以上の経験を有し、おおむね40歳以下の係長を中心とする。 定員30名 研修期間は3週間(年1回)
大学図書館職員講習会 (東日本は東京大学、 西日本は京都大学と 大阪大学が隔年実施)	大学図書館活動を促進するため、大学図書館の中堅職員に、図書館業務の最新の知識及び専門的技術を習得させ、その資質の向上を図る。	大学等の図書館(室)において、2年以上の勤務経験を有する35歳以下の中堅職員を対象とする。 定員190名(東日本100名、西日本90名) 研修期間は4日間(年1回)
漢籍担当職員講習会 (京都大学人文科学 研究所)	漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員に、漢籍の取り扱いに関する知識と技術を普及し、学術資料としての漢籍の有効な利用体制の整備に資する。	大学図書館・公共図書館・その他の図書館施設等において、漢籍(中国人によって書かれた漢文の書誌)の整理等の業務に従事する図書館職員を対象とする。 電算処理(年1回、定員30名) 初級(年1回、定員30名) 中級(3年毎、定員20名) 研修期間は1週間

(2) 大学等で行っている全国的な研修

研修の名称等	目的	研修対象・期間等
漢籍整理長期研修 (東京大学東洋文化研究所)	漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員に、研修・実地面にわたり個別指導を行い漢籍整理の取り扱いに関する技術を習得させ、学術資料としての漢籍の有効利用を図る。	大学図書館・公共図書館・その他の図書館施設等において、漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員を対象とする。 定員5名 研修期間は3月半 (3月は所属図書館において自習) (年1回)
西洋社会科学古典資料 講習会 (一橋大学社会科学 古典センター)	西洋社会科学古典資料の収集・蓄積に関する高度な知識を習得させる。	大学図書館及び大学その他の研究機関に所属する職員で西洋社会科学古典資料の整理または調査研究に従事している職員を対象とする。 定員30名 研修期間は4日間(年1回)

史料管理学研修会 (国文学研究資料館)	史料の整理、管理、利用サービス等の史料管理学に必要な専門知識を習得させ、史料保存利用機関等における専門職員(アーキビスト)の養成を図る。	史料保存利用機関、大学史・自治体史・企業史の編さん室等に勤務し、史料の整理、管理等の業務に従事している職員等を対象とする。 定員35名(各回) 長期課程8週間(年1回) 短期課程2週間(年1回)
--------------------------------------	--	--

(3) 学術情報センターで行っている研修

研修の名称	目的	研修対象・期間等
目録システム講習会	目録システムの運用に関する知知・技術を習得させる。	目録所在情報サービスを利用している大学等の図書館の目録業務担当者を対象とする。 定員28名(各回) 研修期間は4日間(年7回)
総合目録データベース実務研修会	総合目録データベースの構築を推進するため、大学等の図書館における目録担当者の指導を行う高度な知識と技術を有する職員を養成する。	目録所在情報サービスを利用している大学等の図書館の担当者を対象とする。 定員12名(各回) 研修期間は4週間(年2回)
ILLシステム講習会	ILLシステムの運用方法及び端末操作等に関する知識・技術を習得させる。	ILLシステムによる業務実施機関及び学術雑誌総合目録協力機関のILL業務担当職員を対象とする。 定員は28名(各回) 研修期間は2日間(年5回)
NACSIS-IR講習会	学術情報センターの情報検索サービス(NACSIS-IR)の利用に関する知識と技術を習得させる。	大学等の図書館においてNACSIS-IRの代行検索を行う担当者を対象とする。 定員28名(各回) 基礎コース1 1日(年5回) 基礎コース2 2日(年2回)
電子メールシステム講習会	学術情報センター電子メールシステムに関する知識・技術を習得させる	大学等の電子メールシステム利用者を対象とする。 定員28名(各回) 研修期間は2日間(年2回)